

## 各論

## 要点

### 1. 赤字解消・削減の取組 (法定外繰入含む)

- 令和4年度以降も引き続き、国保運営方針に方針を定めていただくと同時に、解消目標年度・年度ごとの具体的な取組を定めた赤字解消計画を策定・公表し、実行をお願いします
- 解消まで長期に及ぶ計画については、市町村に設定理由等を確認いただき、解消の前倒しについて協議をお願いします
- 新たな法定外繰入等を発生させないよう、市町村の財政状況を把握し、連携会議等で市町村と共通認識を形成をお願いします

### 2. 保険料水準の統一

- 都道府県と市町村の間で引き続き議論し、次期国保運営方針において、どのような将来像を描くか検討をお願いします
- 統一に向けた推進体制の構築、統一後の医療費適正化・収納率向上のインセンティブ確保（モラルハザード防止）対策など個別論点への対応、市町村との合意形成など統一に向けた諸課題への対応については、他の都道府県の事例も参考に取組をお進めください

### 3. 骨太の方針等の国保財政に対する指摘

- 骨太の方針等では国保財政健全化に焦点が当たっており、法定外繰入等の早期解消や保険料水準の統一、普通調整交付金の配分方法の見直し等について言及されています

## 【まとめ2】 都道府県国保運営方針における留意点

### 各論

### 要点

#### 4. 医療費の適正化

- 骨太の方針2021、2022において、医療費適正化計画の在り方の見直しについて言及されています
- 国保財政との関係では、①適正化計画における医療費見込みについて、保険料率設定の医療費見通しや財政運営の見通しとの整合性の法制的担保を行うこと、②国保運営方針において医療費適正化の取組を必須事項とすること、が求められています

#### 5. 保険料の徴収の適切な実施

- 各市町村の現状を把握・整理し、市町村ごとの収納率の推移や収納対策の実施状況を「見える化」をお願いします
- 収納率向上の取組としては、口座振替等の推進、税部門との連携等による収納体制の強化、事務処理の広域化、都道府県・国保連による専門員派遣・研修等が考えられます

#### 6. 保険給付の適切な実施 (第三者求償等)

- 広域的な対応が必要なものや一定の専門性が求められるものなど、市町村のみでは適正な保険給付の実施について効率的に対応しきれない場合がございます
- 第三者求償事務、療養費の支給の適正化、レセプト点検など、事務・ノウハウの標準化・広域化を検討をお願いします

## 【まとめ3】 都道府県国保運営方針における留意点

### 各論

### 要点

#### 7. 事務の標準化・広域化

- 事務処理の標準化（基準統一、市町村事務処理標準システムの導入等）により効率化が可能と考えられます
- また、市町村ごとに単独で行うのではなく、広域的に実施（共同実施等）することにより、効率化が可能と考えられます
- 他都道府県の実施状況・事例を参考に、各自治体で効率化の効果が高そうな事務を特定し、取組をお進めください

#### 8. 各種計画との整合性

- 次期都道府県国保運営方針においても、今期と同様に都道府県が定める各種計画との整合性をとることが求められるため、関係部局で連携をお願いします
- 例えば、医療計画や医療費適正化計画、健康増進計画、介護保険事業支援計画、データヘルス計画等が挙げられます

#### 9. 国保組合関係

- 令和4年度は、全国保組合を対象に被保険者の所得状況の調査を実施。国保組合の現状把握、国庫補助の算定への適切な反映を目的とした重要な調査となるのでご協力をお願いします
- 令和4年度における国保組合の保険者インセンティブについて、評価指標等の確認をお願いします